

植松茂岳 うゑまつしげ 國學者。寛政十八年十一月十日尾張國愛知郡高田村生れ、明治九年二月二十日歿（一七五〇—一八七六）。尾張藩士小林和六次男。幼名啓作、通稱庄左衛門。號松蔭。文化十二年國學の師植松有信を繼いだ。藩費明倫堂典籍次座。藩命を以て「尾張志」を撰述し、「古事記」、「大國史」の校正等に當る。安政二年藩主徳川慶勝の侍講となり、國事にも答へ、慶勝の勤皇思想に影響を與へた。安政の大獄に慶勝が連坐した際には、自らも文久二年まで自宅幽閉。慶應三年明倫堂國學教授、明治六年大講義。

數種の著述の他、後嗣植松有經編の歌集「松蔭集」全二冊（明治三十七年四月八日内田健文丞刊）がある。

